

平成22年度 都市整備部長「政策宣言」中間報告

都市整備部長 宮 嶋 昇

○ 平成22年度重要事業

事業名	重点密集市街地整備の実施
目 標	放生津地区において、住民と協働し、安全で安心して暮らせるためのまちづくりを進めます。
進捗状況	重点密集市街地の改善や民間活力により共同住宅の整備を図るため、社会資本総合整備計画(地域住宅支援)及び、射水市住宅市街地総合整備事業補助金交付要綱の作成を行いました。 また、住民が将来の住まい方を決めるための、建物調査(財産価値)を進めています。
今後の対応	共同住宅を核としたまちづくりを進める地区において、個別意向を踏まえながら、土地利用計画の作成や、防災性の向上を図るため、老朽住宅の除去を行います。

事業名	住みよい・安心して暮らせるまちづくりの推進
目 標	住みよいまちづくりに向け、「住まい・まちづくり計画」を策定します。 また、安心して暮らせるまちづくりに向け、「地震防災マップ」を作成します。
進捗状況	「住まい・まちづくり計画」については、これまで4回の策定委員会及び幹事会を開催し、素案の策定に至っています。 「地震防災マップ」の作成作業は、進捗率約70%で、ゆれやすさマップの素案が出来上がり、引き続き液状化マップと地域危険度マップの検証を行っているところです。
今後の対応	「住まい・まちづくり計画(素案)」に関する意見等を広く市民から募集し、その結果を踏まえ、最終的な計画を策定します。 「地震防災マップ」については、12月議会で説明し、その後、市内全世帯に配布します。

事業名	北陸新幹線開通に向けた交通体系の整備促進
目 標	新幹線駅へのアクセス道路網について、国道及び県道を含め総合的に検討します。

進捗状況	<p>市内の道路網の外郭を形成する主要地方道新湊庄川線及び小杉婦中線については、県にて計画的に整備が進められています。国道8号坂東交差点立体化事業についても鋭意整備が進められています。</p> <p>また、市の幹線道路である市道塚原47号線、市道34号線、市道堀内土合線等についても、計画的に整備を進めています。</p>
今後の対応	<p>最寄りの北陸新幹線駅に30分以内で到着できるよう、国道、県道及び市道の総合的な道路整備を計画的に進めます。</p>